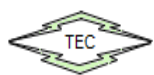
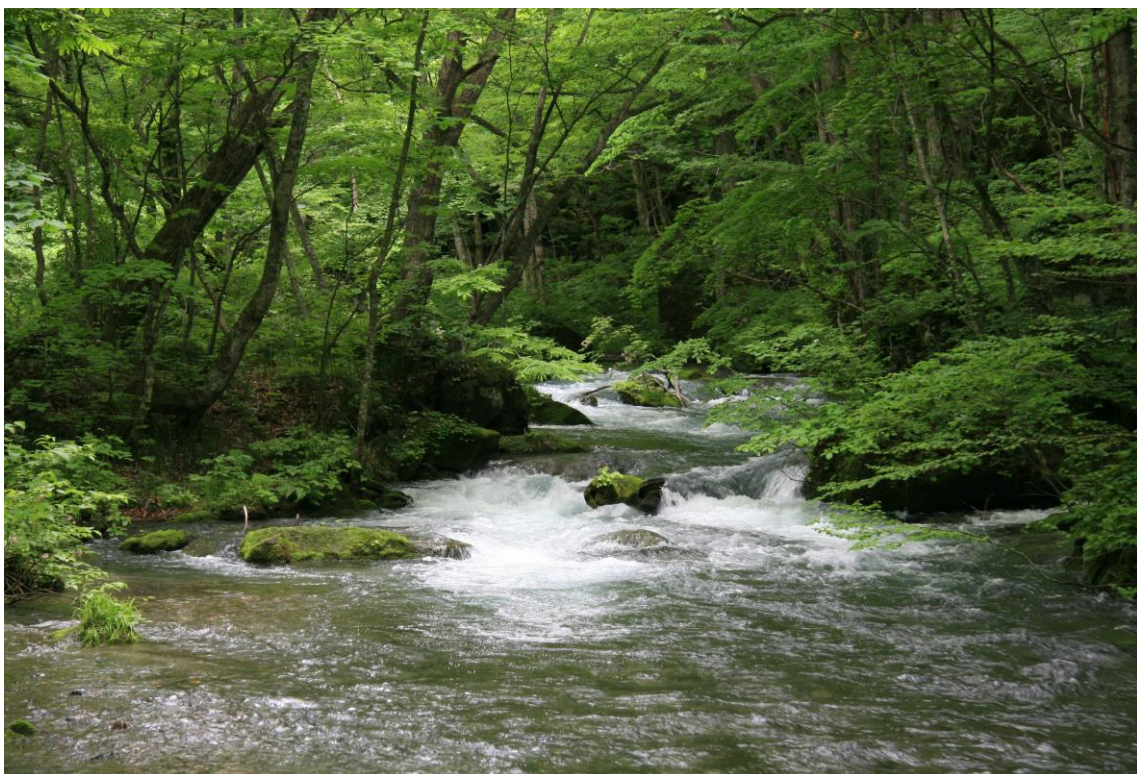


環境経営活動レポート

令和元年度：平成 31年 1月 ～ 令和元年 12月



富田電気工事株式会社

一 目 次 一

1. 環境経営方針
2. 事業の概要
3. 実施体制
4. 環境経営目標とその実績
5. 活動内容
6. 活動内容写真
7. 環境関連法規の遵守状況
8. 代表者による評価と見直し

1. 環境経営方針

【基本理念】

富田電気工事株式会社は企業は人なりを目標に会社及び社員全員が地球環境の保全、地域環境の保全を自主的・積極的に継続し取り組みます。

【行動指針】

1. 当社に係る環境法規・条例を遵守します。
2. 当社は事業活動が環境に与える影響を考え、以下の項目を継続的改善に努めます。

①省エネルギー商品の客先提案

- ・省エネ商品、LED照明、プルスイッチ、エコケーブルの使用

②効率の良い施工を行い、無駄な総エネルギーや廃棄物を排出させない

- ・施工前や打合せ時に担当者が実施状況をチェックする

③CO2の削減（電気使用量、化石燃料の削減）

④水資源の節約

⑤エコドライブを実践し、ガソリン使用量を減らす

⑥グリーン購入及びエコマーク商品の購入

⑦廃棄物の分別を重視し、廃棄物量削減化を図る

⑧在庫の整理整頓をし、過剰発注や廃棄量を減らす

- ・毎月在庫確認をし、在庫確認後に発注をする

※全社員に環境方針エコアクション21を周知徹底する。

環境経営活動レポートを社内外に公表する。

制定日 平成 21年 11月 01日

改定2 令和 2年 02月 03日

富田電気工事株式会社

代表取締役 富田 三代浩

2. 事業の概要

事業所名および代表者名

富田電気工事株式会社

代表取締役 富田 三代治

所在地

静岡県浜松市中区中島一丁目10番7号

環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者 富田 晃史

事業の内容

電気設備工事全般

(URL <http://tec.tomitech.jp/>)

事業の規模

活動規模	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
従業員数	人	15	16	14
延べ床面積	m ²	77.76	77.76	77.76

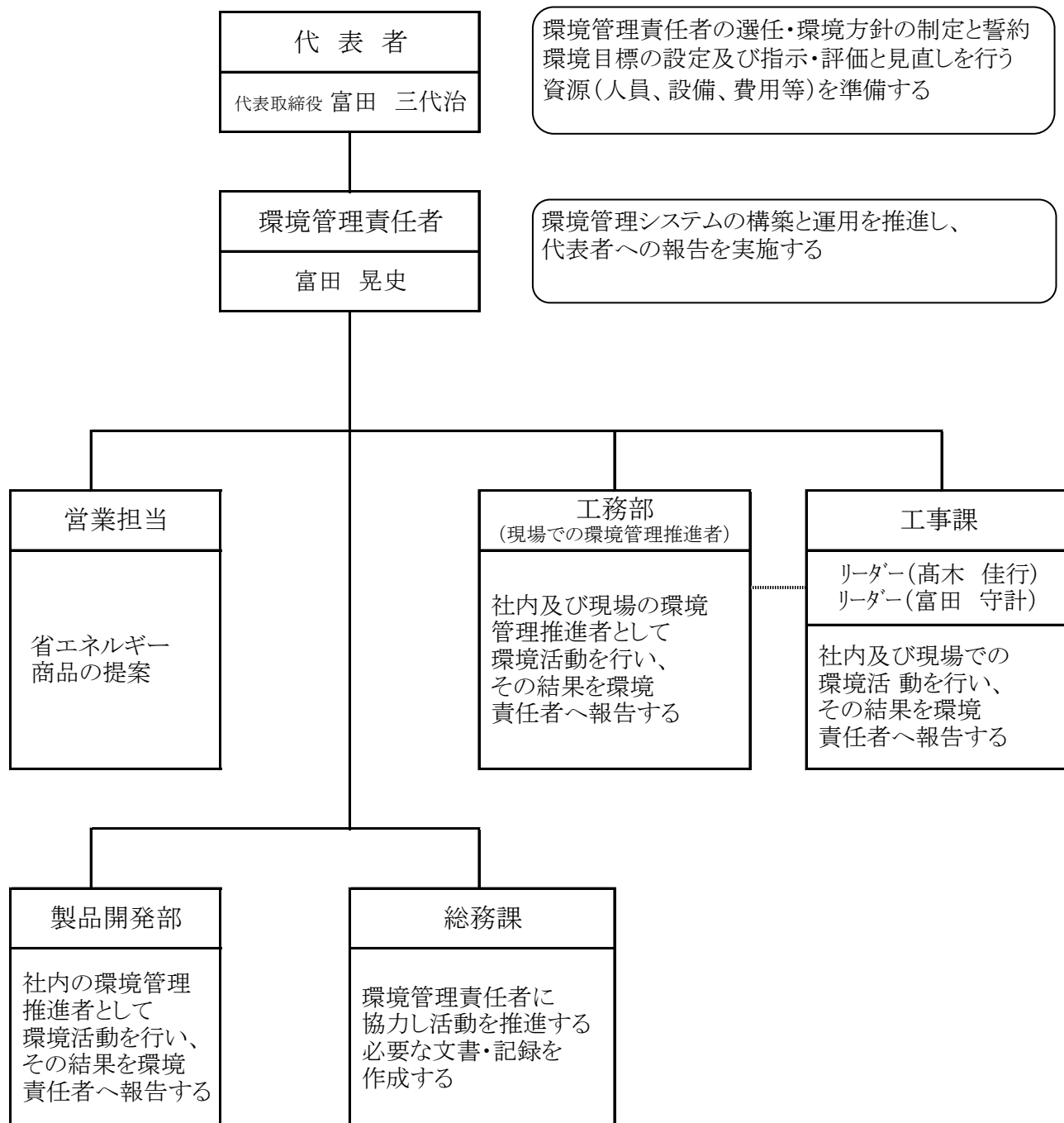
3. 実施体制

対象範囲: 全組織、全活動

作成日: H22-02-01

作成者: 富田 晃史

H28-12-20確認



4. 環境経営目標とその実績

作成日：H28-12-20

作成者：富田 晃史

○当社におけるCO₂削減等の目標は下記の通りです。

-中長期目標-

平成28年度～30年度平均を基準

			単位	28-30年 (3年平均)	R1年 (-1%)	R2年 (-1.5%)	R3年 (-2%)	R4年 (-2.5%)
総エネルギー投入量	購入電力		kWh	24,492	24,247	24,125	24,002	23,880
	ガソリン		L	9,956	9,857	9,807	9,757	9,610
	軽油		L	365	361	359	357	352
水資源投入量	上水		m ³	175	173	172	172	169
温室効果ガス排出量	購入電力 化石燃料		Kg-CO ₂	35,870	35,511	35,332	35,152	34,623
廃棄物等総排出量	(現場)	その他	t	100%	リサイクル率95%以上を目指す			
グリーン購入に配慮する				○	グリーン購入に配慮する			
省エネルギー商品の受注件数				52件	54件	56件	58件	60件

-短期目標と実績-

購入電力 排出係数 調整後 0.452kg-CO₂/kWh
※中部電力 2018年度版 補正

			単位	H28年	H29年	H30年	R1年目標	R1年結果	評価 ※	目標比	
総エネルギー量			購入電力	kWh	23, 687	23, 632	26, 158	24, 247	26, 104	○	107%
					(155)	(140)	(160)	(145)	(93)		△
			ガソリン	L	8, 575	10, 445	10, 849	9, 857	11, 835	○	120%
					(56)	(62)	(66)	(59. 0)	(42)		×
			軽 油	L	301	387	406	361	543	○	150%
					(1. 9)	(2. 3)	(2. 4)	(2. 2)	(1. 9)		×
水資源投入量			上水	m3	159	165	201	173	167	○	96% ○
温室効果ガス排出量			購入電力 化石燃料	Kg-CO2	32, 210	36, 726	38, 673	35, 511	40, 788	○	114%
					(211)	(217)	(237)	(213)	(145)		×
廃棄物等総排出量	(現場)	その他	t	3. 47	2. 39	5. 95	95%	100%	○	○	
				(0. 022)	(0. 014)	(0. 036)					
グリーン購入に配慮する					○	○	○	○	○	○	○
省エネルギー商品の受注件数(件)					56	40	60	54	46	×	85%

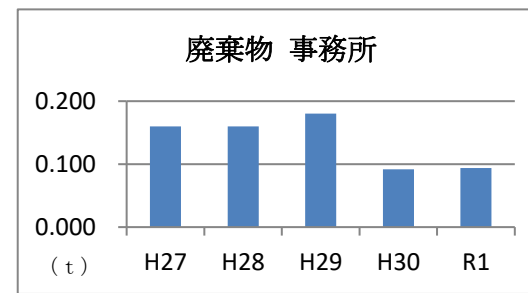
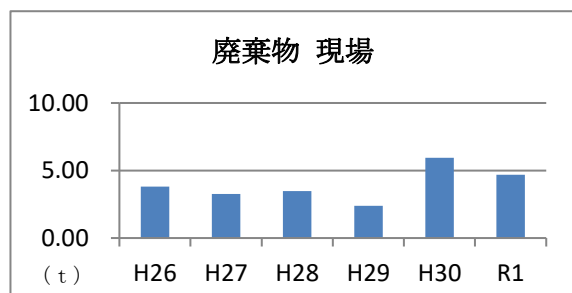
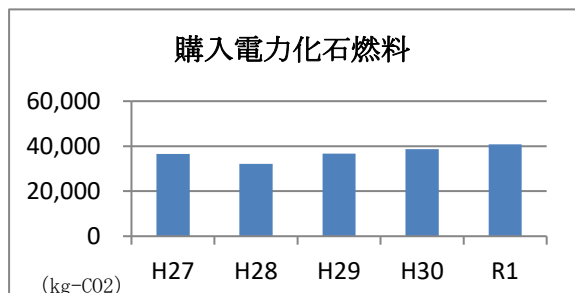
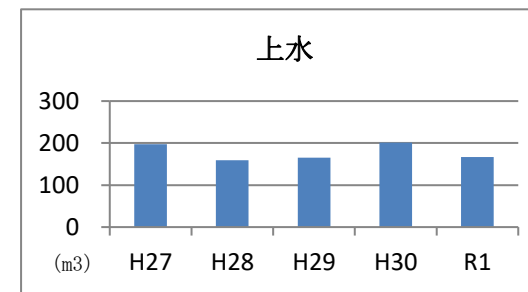
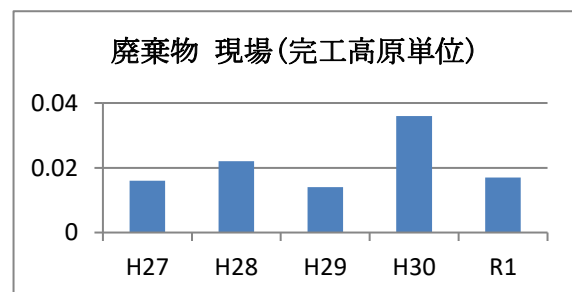
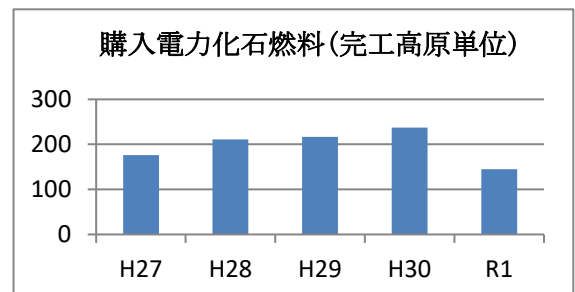
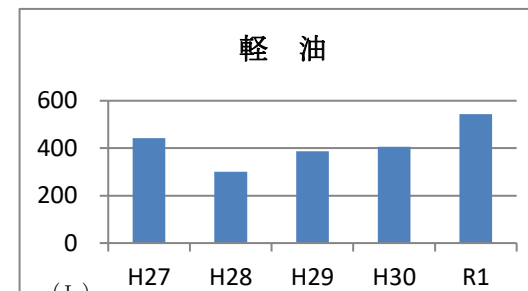
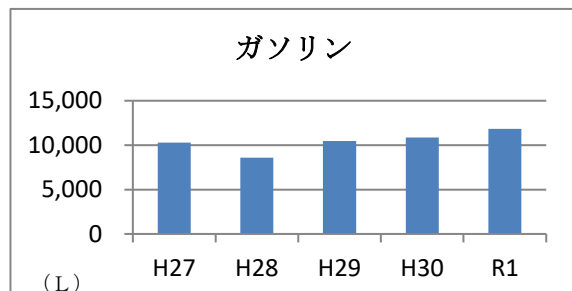
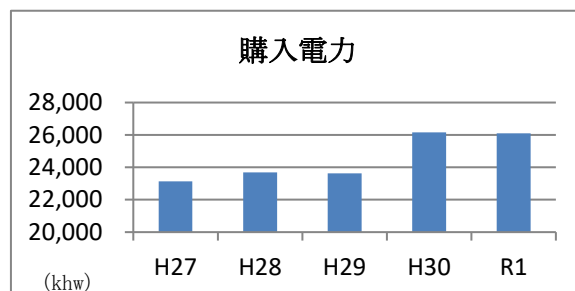
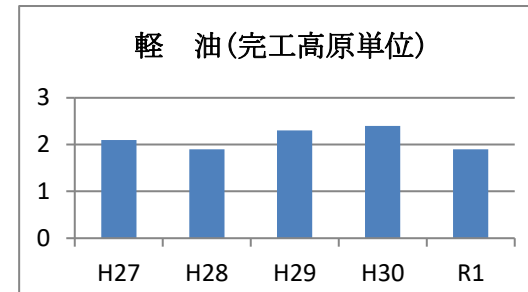
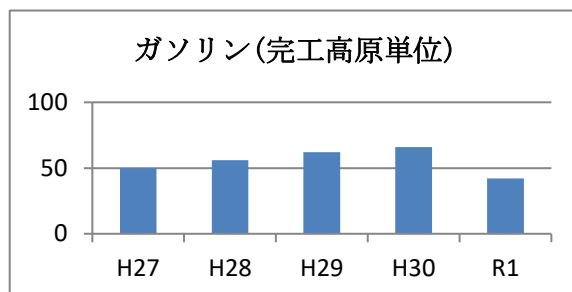
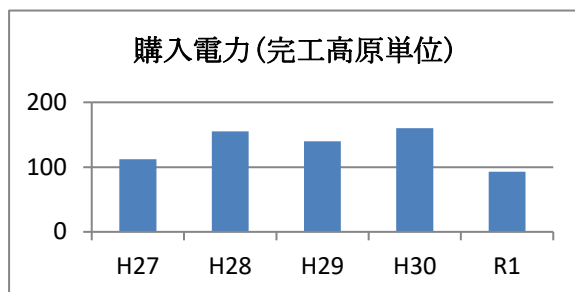
※(下段)は完成工事高原単位を示す(完工高は別表1に記載)

-評価-

購入電力	冬の使用量前年と変わらなかったが、夏場の使用量が抑えられていた。エアコンのフィルター清掃などにより設定温度も保てた。照明もスイッチ紐を利用し電気量を抑えた。
ガソリン・軽油	1～4月の使用量が増えていた。仕事の現場により増えてしまうが、エコドライブや、乗合いでルートを検討していく。
水使用量	蛇口に節水シャワーをつけたことにより毎月の使用量を減らすことができた。引き続き、無駄使いや、出し続けることなく使用し、雨水も利用していく。
温室効果ガス排出量	前年より多いが、完成工事高率で比べると減っていた。業務量が多い場合でも、電気とガソリンの使用量を抑える様、心掛けていく。太陽光発電量は6550kWhであった。
産廃排出量	下請業務が前年より増え、現場の廃棄物排出量は減った。鉄等はリサイクルされている。
グリーン購入に配慮する	エコケーブルを使用し、グリーン商品の購入を維持していく。
省エネルギー商品の受注件数	蛍光灯の生産中止に伴い、LEDの推奨、省エネルギー商品の受注をしていく。

評価日:R2-02-03
評価者:富田 晃史

-実績グラフ-



5. 環境活動計画及び計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容

評価日: R2-02-03
評価者: 富田 晃史

取 組 内 容	担当者 責任者	スケジュール												評 価	次年度の取組・目標
		H31	R1												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1. 電気使用量の削減 ① エアコンの設定温度の管理 (暖房21℃・冷房27℃) ② 不要電気、昼休みの消灯・スイッチの利用 ③ A1コピーは使用時のみ電源を入れる。	晃史 晃史 大介													○ エアコンフィルターの清掃、設定温度の管理・ウォームビズを取組んでいる。 ○ 不要電気の管理ができてい ○ る。 ○ 資料やFAX等、ペーパーレス化を図っている。	ウォームビズの取組み、エアコンフィルターの清掃を行っていく。 今年度の取組みを継続する。
2. 燃料使用量の削減 ① エコドライブの実施 (エンジンブレーキ、急発進・急加速・急ブレーキをしない) ④ 同一現場への車輛はなるべく乗合いをする	近藤 近藤													○ エコドライブ運転を実施してい ○ る。 ○ 車両燃費の経年劣化を把握し、燃費を確認している。	乗合いやルートも考案し、エネルギー量を抑えていく。 燃料使用量の削減向上を図る。
3. 水資源の節約 ① 水を出し続けない ② 節水の表示をし、節水を心掛ける	守計 守計													○ 蛇口の節水シャワー取付けにより ○ 節水できている。 ○ 雨水を利用し、植物の水まき等に利用している。	今後も継続し、節水の取組みと、雨水の利用をする。 次年度も水使用量を下げていくこと。
4. 廃棄物の削減 ① 事務所のゴミの分別化(燃えるゴミ・プラゴミ) ② コピー用紙の裏面利用100%化 ③ リサイクル品の分別回収の徹底 【ペットボトル・缶(アルミ・スチール)・ビン等】 ④ 産業廃棄物は鉄・廃ケーブル・その他に分別する	大介 大介 牧田 高木													○ 分別箱によりゴミの分別し、リサイクルされている。 ○ コピー用紙は両面コピーや、裏面の再利用、FAXはデータ受信し、印刷量を削減している。 ○	産業廃棄物は、細かく分別していく。 リサイクルできる紙類は、シュレッダーせずリサイクル品として出す。
5. その他 ① グリーン購入活動へ取組む ② 文房具のエコマーク商品購入 ③ 屋上緑化 ④ 省エネルギー商品 (照明器具・変圧器・エコキュート等)の推奨 ワイヤーコート(電線剥離機)の販売	牧田 牧田 内山 晃史													○ エコケーブルの使用し、グリーン商品や、エコマーク商品を購入。 ○ 屋上緑化により夏の室温上昇を抑えることができてい ○ る。 ○ 省エネルギー商品の推進もしている。 ○	新たなグリーン商品やエコマーク商品を調べ、購入する。 屋上の植物の状態を夏冬前に確認していく。 省エネルギー商品の提案件数を増やし、受注に繋げる。 今後もそれぞれ継続する。

6. 活動内容

ーエアコンの温度設定・節電への取組みー

- ・ 設定温度のラベル貼付し、1時間ごとに温度確認
- ・ クールビズ・ウォームビズの推進
- ・ A1コピー機や、常に使わないコピー機に節電ラベル貼付



ー節水の取組みー

- ・ 節水のラベル貼付け



ー事務所内ゴミ分別の取組みー

- ・ 可燃・プラ・資源ゴミの分別
- ・ 地域廃品回収の参加



ー廃棄物・ゴミ分別の取組みー

- ・ 現場廃棄物の分別



- ・ 資源ごみの分別

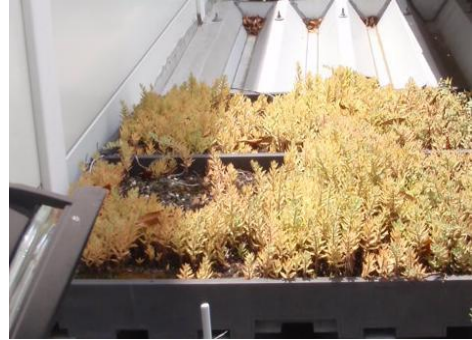


－ 屋上緑化 －

- ・ 事務所屋上に設置、室内温度上昇を防止する

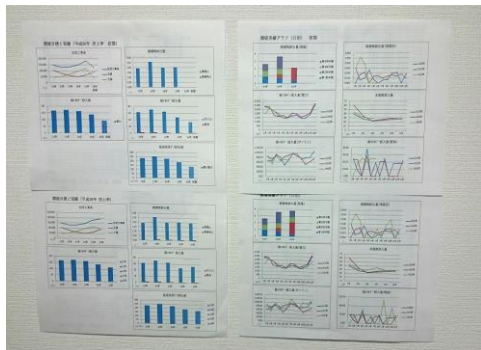


- ・ 目に見える場所へ少量設置し、植物の状態を管理する



－ 環境実績の掲示 －

- ・ 月別や、売上率での排出量を掲示



－ 東南・東アジア 植林活動の参加 －

- ・ オイラの世界植林活動・教育援助活動に参加
- ・ モンゴルやマレーシアの植林活動、アジアの熱帯林にマングロープを植林する等、森の再生や環境保全活動を毎年実施



－ 太陽光パネル設置 －

- ・ 太陽光パネルは多結晶系シリコンを使用
- ・ 効率率は15～16.5%



－ LED照明取付 －

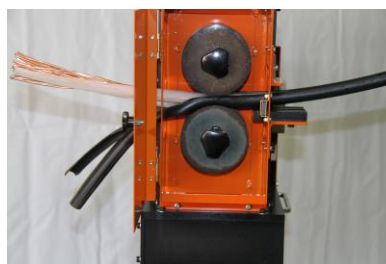
- ・ 消費電力の少ない機器を使用、三菱・パナソニック
- ・ 屋外に人感センサーを設置



－ 省エネ商品の製造・販売 －

ワイヤーコートオートカッター（電線剥離機）

- ・ ケーブルの被覆と中味芯線銅線を効率良く分別
- ・ 被覆の堅い6KV, 3KV, CVT, CVも可能
- ・ 最大1分間に21mの速度で被覆を剥ぎ取る
- ・ 刃は高周波焼入れにより耐久性有り
- ・ 軸受けは高級ベアリング使用につき注油不要



A タイプ	B タイプ	C タイプ	D タイプ
DV, IV, VAの単線両面被覆剥離用 ● IV5.5SQ ~ 38SQ まで ● 単線 IV, DV1.6φ ~ 3.2φ ● VVF 電線 1.6φ×2 ~ 3 2.6φ×2 ~ 3 1.6φ×2 & 3 2.0φ×2 & 3 2.6φ×2 & 3	VVF, IV, CVT, VVR, CV, PDCの電線両面被覆剥離用 ● IV14SQ ~ 150SQ まで ● CVT, 22SQ ~ 150SQ まで ● VVR・CV8SQ ~ 22SQ まで	6KV, 3KV, 600V, CV, VVR, CVT, 電線片面被覆剥離用 (22 ~ 150 m²) ● IV・CVT60SQ ~ 325SQ まで ● VVR・CV22SQ ~ 100SQ3 芯まで	IV, CVの電線両面被覆剥離用 (3.5 ~ 14 m²) ● IV, CV3.5SQ ~ 14Q まで (Dタイプはオプション)

電線被覆剥離仕様

仕 様	
単相容量	100V 400W
大きさ(台座)	410 × 630mm
機械高さ	1,050mm
駒大きさ	直径 90φ 幅50mm
機械重量	57kg

電 線 種 類	
6KV CV	PDC電線
3KV CV	SVケーブル
IV 電線	CVケーブル
DV 電線	CVTケーブル
VA 電線	

電 線 剥 離 径	
600Vの各剥離	IV, DV, CV, CVT 1.6mm ² ~ 325mm ²
6KV 3KVの被覆	CV8.0mm ² ~ 325mm ²

7. 環境関連法規等の遵守状況

制定日：平成22-02-01

改訂1：平成30-08-07

作成者：富田 晃史

適用される法規	適用内容	備 考	遵守状況
県条例	個人情報保護・県税納税・自動車税		○
市条例	個人情報保護・市税納税		○
電気事業法	一般用電気工作物及び自家用電気工作物の保安の確保		○
電気工事士法	電気工事士の免状取得者でなければ作業に従事できない		○
建設リサイクル法	特定建設資材(コンクリート(プレキャスト板等を含む。)、アスファルト・コンクリート、木材)を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって一定規模以上の建設工事(対象建設工事)について分別解体等及び再資源化等を行うこと。		○
産業廃棄物処理に関する法律	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。産業廃棄物の発生から最終処分終了まで、適正に処理がなされるよう必要な措置を構ずるよう努める。	1)産業廃棄物マニフェストの管理(A・B2・D・E票の返却)	○
		2)廃棄物処理契約書の締結(許可書の期限確認)	○
		3)収集運搬業の許可期限確認	○
		4)産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○
家電リサイクル法	一般家庭や事務所から排出された家電製品(エアコン、テレビ(ブラウン管、液晶・プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)から、有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を推進する。		処理時に対応
グリーン購入法	物品の購入、借り受け、または役務の提供を受ける場合は、環境物品等を選択するように努める。		○
自動車リサイクル法	車両入替時、適正に処理		処理時に対応
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検	3ヶ月に1回 点検表を使用	○
資源有効利用促進法	パソコン・ディスプレイの適正処分		処理時に対応

※最新版を随時確認

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘並びに利害関係者からの訴訟も過去3年間ありません。

遵守確認日 令和 2年 2月 3日

遵守確認者 富田 晃史

8. 緊急事態の想定結果及びその対応手順

作成日：令和 2年 2月 3日

作成者：富田 晃史

緊急事態発生

- ・ 初期対応を行う
- ・ 消防、救急、警察等に連絡
- ・ 現場担当者に報告
- ・ 会社へ連絡
- ・ 責任者は現場へ急行する
- ・ 調査と、再発防止に努める

社内消防訓練手順

緊急事態の想定 - 現場での火災発生



現場担当者は消火器で初期消火に努める



初期消火による対応が困難な場合は消防に通報する



消防への通報と同時に当社環境責任者へ緊急連絡する



環境責任者は状況の把握に努め、社長に連絡する



環境責任者より連絡をもらった者は現場へ急行し、
緊急事態の早期解決に努める



事態が収束したら原因を調査し、再発の防止に努める

緊急事態に対する訓練等

令和元年 9月 5日

静岡県防災訓練に参加し、災害が発生したと仮定して緊急連絡の手順等を行いました。

令和元年10月 1日

社内消防訓練手順を確認

対応策は問題なし

9. 代表者による評価と見直し

見直し	項 目		確認	評価
	1	エコアクション21文書	良	記録・文書として作成
	2	環境目標及び目標達成状況	良	達成
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	良	継続して取り組む
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	良	記録に記載
	5	外部コミュニケーション・対応記録	良	問題なし
全体評価	項 目		変更の 必要性	指示事項
	1	環境方針	無	継続して取り組む
	2	環境目標	有	引き続き削減できる様、毎月確認する
	3	環境活動計画	有	新たな活動を取り入れる
今年度は、水資源投入量以外は増えましたが、工事高と比較すると 全て減少しています。 仕事により、ガソリンの使用量が増えているので、現場ごとに担当者が 削減方法を考慮して業務に取り組んでいく。 個人で心掛けしている姿勢がみられ、削減することができたので 引き続き、一人一人の行動を見直し、環境に対する意識向上に努めます。 今後も積極的に地域社会の貢献と、地球温暖化防止活動に取り組み、 会社全体で環境意識を高め、電気設備工事店として省エネルギー商品の提案や 受注を増やし、温室効果ガス排出量の増加を抑えることにより環境活動の普及と 推進を継続していきます。				

令和2年 2月 3日

富田電気工事株式会社
代表取締役 富田 三代浩